

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成29年 1月

1 東京都中央卸売市場(平成28年12月)の青果物取扱について

《入荷量》

【市場全体】野菜入荷量が平年比98%, 果実が同99%, 青果計では同98%と平年をやや下回った。
 (野菜) 葉菜類の入荷が潤沢であった一方で、だいこん等の根菜類及びばれいしょ類など土物類の生育不良により、先月までと同様に入荷減、トマト類が着色の遅れ等の産地があり入荷量減
 (果実) りんご類が作柄不良、いちご類が生育遅延により入荷量減

【茨城】野菜入荷量が平年比100%, 果実が同91%, 青果計では同100%と平年並であった。
 (野菜) 先月に引き続き、キャベツ、はくさい等の重量品目の入荷は潤沢であった一方で、8月の台風の影響によりレンコンは作柄不良、ネギは肥大停滞により入荷量減
 (果実) いちごは生育回復が遅れ、入荷量減

《販売金額》

【市場全体】野菜が平年比112%, 果実が同113%, 青果計では同113%であった。
 (野菜) 根菜類は入荷不足が続き単価高、はくさい等の葉菜類が気温低下による需要増加などから単価は前月より低下したものの高止まりするなど野菜全般が単価高となった。
 (果実) りんご類、かんきつ類等の単価高やいちご類が下旬に向けた需要増と、入荷減の影響が相まって単価高となった。

【茨城】野菜は平年比118%, 果実は平年比106%, 青果計では同117%であった。
 (野菜) はくさいや、作柄不良であるレンコンが単価高になるなど、野菜全般が単価高となった。
 (果実) 主要品目であるいちご類が、入荷減、単価高の展開となった。

《数量・金額シェア》

茨城県の1~12月計の青果物入荷量は平年比102%(シェア11.7%)、取扱金額は同118%(シェア10.5%)となった。

12月	市場計 ※2			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H28	186,451	132,480	53,971	23,808	23,512	296	24,923	24,869	54
	H27	191,419	139,108	52,311	22,846	22,505	341	29,390	29,310	80
	(前年比)	(97)	(95)	(103)	(104)	(104)	(87)	(85)	(85)	(68)
	平年値※1	190,456	135,768	54,689	23,887	23,562	325	27,537	27,481	56
	(平年比)	(98)	(98)	(99)	(100)	(100)	(91)	(91)	(90)	(97)
金額	H28	58,536	36,013	22,523	5,002	4,512	491	5,053	4,955	98
	H27	52,093	31,065	21,028	4,078	3,617	461	4,370	4,255	115
	(前年比)	(112)	(116)	(107)	(123)	(125)	(107)	(116)	(116)	(85)
	平年値※1	52,021	32,060	19,961	4,294	3,829	465	4,590	4,508	82
	(平年比)	(113)	(112)	(113)	(117)	(118)	(106)	(110)	(110)	(120)

(単位：t, 百万円, %)

東京都中央卸売市場における青果物取扱数量及び金額(平成28年1~12月計)

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~12月計)		
	1~12月	1~12月	年間計	年間比	千葉	北海道	青森		
数量	H28	1,956,079	229,650	←シェア(11.7%)	11.5%	11.2%	5.6%		
	H27	1,997,926	221,203		11.7%	11.8%	5.6%		
	(前年比)	98	104	シェア(11.1%)					
	平年値※1	2,021,004	225,587						
	(平年比)	97	102	シェア(11.2%)					
金額	H28	586,489	61,743	←シェア(10.5%)	8.0%	6.4%	6.0%		
	H27	566,432	56,594		8.0%	6.2%	6.0%		
	(前年比)	104	109	シェア(10.0%)					
	平年値※1	529,658	52,304						
	(平年比)	111	118	シェア(9.9%)					

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成22, 24, 25, 26, 27年の5ヵ年平均。
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
 平成27年実績(1~12月計)
 茨城県：金額シェア(10.0%), 数量シェア(11.1%)
 千葉県：金額シェア(8.0%), 数量シェア(11.7%)
 北海道：金額シェア(6.2%), 数量シェア(11.8%)
 青森県：金額シェア(6.0%), 数量シェア(5.6%)

2 東京都中央卸売市場(平成28年12月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※ 平年比は、平年値に対する本年値の割合を表す。
(平年値は平成22,24,25,26,27年の5カ年平均値)

野菜類の入荷量は23,512トン(前年比104%, 平年比100%), 単価は192円/kg(前年比119%, 平年比111%)。
果実類の入荷量は296トン(前年比87%, 平年比96%), 単価は1657円/kg(前年比123%, 平年比108%)。

	品目	数量 t			単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	はくさい	14,117	111	103	101	82	256	155	154	1,163,133	290	160
	れんこん	1,115	82	83	85	597	117	123	122	665,940	96	104
	みず菜	559	105	104	97	422	96	83	84	235,821	101	87
	ピーマン	493	108	105	112	448	106	109	101	220,900	115	114
	ねぎ	744	71	69	92	269	125	117	117	200,051	88	82
	かんしょ	1,029	101	96	91	184	89	113	110	189,313	90	107
	野菜類計	23,512	104	100	98	192	119	111	110	4,511,507	125	112
果実	いちご類	250	84	94	96	1,900	128	111	110	475,097	107	105
	果実類計	296	87	96	98	1,657	123	108	111	490,787	107	105

- ・はくさい 茨城県産はくさいは、定植時期の天候不良や11月の低温等により平年と比べて小玉傾向ではあるものの、産地からの前倒しの出荷が多く、入荷量は平年比103%、市場全体でも平年比101%であった。単価は、年末需要が高まる中、高値基調が続く、茨城県産は前年比256%、平年比155%と非常に高く、金額は前年比290%、平年比160%であった。
 - ・れんこん 茨城県産れんこんは、8月下旬の台風による地上部の茎葉の損傷の影響などから、作柄不良であり、県内各産地で2割程度の減収となっており、入荷量は平年比83%と少なく、市場全体でも平年比85%と少なかった。品薄感が払拭されないまま年末需要効果が相まって単価は高く、茨城県産は前年比117%、平年比123%、金額は前年比96%、平年比104%であった。
 - ・みず菜 茨城県産水菜は、10月以降の天候回復に伴い生育も回復し、平年比104%と平年を少し上回ったが、市場全体では群馬(前年比33%)などで少なく、平年比97%と、平年を下回った。単価は、茨城県産については入荷量増加によりやや下げ基調となり、前年比96%、平年比83%、金額は、前年比101%、平年比87%であった。
 - ・ピーマン 茨城県産ピーマンは、10,11月の晴天により着果不良が解消され、着花、肥大とも順調となり、平年比105%。市場全体では主産地の宮崎からの入荷量が年末の出荷最盛期に向かい中旬から増加し、平年比112%と多かった。単価は堅調に推移し、茨城県産は前年比106%、平年比109%と高く、金額は前年比115%、平年比114%であった。
 - ・ねぎ 茨城県産ねぎは、11月の降雨により肥大は回復しつつあるものの、平年と比べて細物中心であり、台風の影響による曲がり等の規格外が発生し平年比69%と少なかった。市場全体でも、各産地からの出荷物の肥大程度が回復しつつある中、平年比92%と少なかった。茨城県産単価は、入荷減の影響により高く、前年比125%、平年比117%、金額は前年比88%、平年比82%であった。
 - ・かんしょ 茨城県産かんしょは、先月までの入荷減が解消され、平年比96%と平年並、市場全体では徳島(前年比93%)、鹿児島(同66%)などが少なく、平年比91%と少なかった。単価は先月から下げ基調となり、前年比89%、平年比113%、金額は前年比90%、平年比107%であった。
- (果実)
- ・いちご類 茨城県産いちごは、生育遅延により中旬までは入荷量が少なかったが、下旬にかけて入荷量が回復し、平年比94%、市場全体でも栃木等を中心とした他産地で同様に生育遅延による遅れから、平年比96%と平年を下回った。入荷減により単価は高く、茨城県産は前年比128%、平年比111%、金額は前年比107%、平年比105%であった。